

ins-DN-1604

ドアノブ DNシリーズ

構成部品

ノブ(握玉) x 2

ラッチ

バックセット 58mm

26 フロントサイズ

58 ピスビッチ 42mm

シャフト(角芯) 太さ 8mm

ストライク(受座)

取付ネジ (DN2・DN3) 30

取付ネジ (DN1) x 4 (DN1 x 8) x 4

ビスビッチ 42mm

六角レンチ

ドアノブ 組立図

取付けるドアにラッチとシャフトが収まるようにドリルで穴を開けてドアを加工してください。

※図はドアノブ DN3です。
ドアノブ DN1はノブ取付ネジが4箇所になります。

※ 対応ドア厚 28mm ~ 40mm

取付手順

① シャフト(角芯)の取り外し

シャフト固定ネジを付属の六角レンチで締め、シャフトを引き抜いて下さい。

② ラッチを扉へ取付

ラッチフロントが収まるように3mm程度の深さで彫り込んで下さい。

ラッチの方向を間違わないで下さい。

③ ノブ(握玉)の取付

ノブにシャフトを差し込み、六角レンチで固定ボルトを締め、シャフトを固定します。

シャフトを差し込んだノブをラッチの穴に入れネジで取付けます

※ネジは後で調整するため、軽く締める程度にしてください。

④ ノブ(握玉)の取付

ノブにシャフトを差し込み、取付けネジでノブを固定します。

※ノブを回してラッチが正常に動くか確認して下さい。

※ラッチの動きが悪い場合は、取付ネジやシャフト固定ボルトを緩めるなどし、ネジの締め付け具合で調整して下さい。

⑤ ストライク(受座)の取付

受け側 切欠寸法 幅 17mm 高さ 22mm 深さ 13mm

※ラッチとストライクの隙間が2mm以上になるように受け側を彫り込むなど、受座の位置を調整して下さい。

真鍮製品について

このドアノブは無垢材の真鍮を磨いただけのシンプルな仕上げです。変色を防止する処理は一切しておりません。真鍮素材は空気に触れることで表面が黒っぽく変色してゆきます。変色が気になる場合は市販の「真鍮磨き」等で磨いていただく事で元の金色に戻ります。また、磨かずに自然に変色していくことで新品時にはない濃厚なアンティーク調の色合いに変化していきます。この変化が真鍮製品の醍醐味ですので、お手入れは乾拭き程度とし、自然に変色していく様子を楽しむ事をおすすめ致します。

ins-DN-1604

ドアノブ DNシリーズ

構成部品

ノブ(握玉) x 2

ラッチ

バックセット 58mm

26 フロントサイズ

58 ピスビッチ 42mm

シャフト(角芯) 太さ 8mm

ストライク(受座)

取付ネジ (DN2・DN3) 30

取付ネジ (DN1) x 4 (DN1 x 8) x 4

ビスビッチ 42mm

六角レンチ

ドアノブ 組立図

取付けるドアにラッチとシャフトが収まるようにドリルで穴を開けてドアを加工してください。

※図はドアノブ DN3です。
ドアノブ DN1はノブ取付ネジが4箇所になります。

※ 対応ドア厚 28mm ~ 40mm

取付手順

① シャフト(角芯)の取り外し

シャフト固定ネジを付属の六角レンチで締め、シャフトを引き抜いて下さい。

② ラッチを扉へ取付

ラッチフロントが収まるように3mm程度の深さで彫り込んで下さい。

ラッチの方向を間違わないで下さい。

③ ノブ(握玉)の取付

ノブにシャフトを差し込み、六角レンチで固定ボルトを締め、シャフトを固定します。

シャフトを差し込んだノブをラッチの穴に入れネジで取付けます

※ネジは後で調整するため、軽く締める程度にしてください。

④ ノブ(握玉)の取付

ノブにシャフトを差し込み、取付けネジでノブを固定します。

※ノブを回してラッチが正常に動くか確認して下さい。

※ラッチの動きが悪い場合は、取付ネジやシャフト固定ボルトを緩めるなどし、ネジの締め付け具合で調整して下さい。

⑤ ストライク(受座)の取付

受け側 切欠寸法 幅 17mm 高さ 22mm 深さ 13mm

※ラッチとストライクの隙間が2mm以上になるように受け側を彫り込むなど、受座の位置を調整して下さい。

真鍮製品について

このドアノブは無垢材の真鍮を磨いただけのシンプルな仕上げです。変色を防止する処理は一切しておりません。真鍮素材は空気に触れることで表面が黒っぽく変色してゆきます。変色が気になる場合は市販の「真鍮磨き」等で磨いていただく事で元の金色に戻ります。また、磨かずに自然に変色していくことで新品時にはない濃厚なアンティーク調の色合いに変化していきます。この変化が真鍮製品の醍醐味ですので、お手入れは乾拭き程度とし、自然に変色していく様子を楽しむ事をおすすめ致します。